



## 地域の方々にお世話になっています!



小国町では、各校がコミュニティ・スクールに指定され、「地域と共にある学校」をめざして教育活動が展開されています。その活動の1つに「学校パートナー」による学習等への指導・支援の協力がありますが、今年も様々なところでお世話になっています。

まず、3年生は、総合的な学習の時間におぐに語部「ゆるり座」の方々を講師にお招きして、昔語りについて学んでいます。ゆるり座の方々には、全校読書の時間にお越しいただき、昔語りをしていただいておりますが、3年生は自分たちが昔語りに挑戦します。6月28日

(月)の第1回目の学習では、「昔語り」そのものについて学び、これからの取り組みに向けての意欲を一層高めることができましたようです。

それから、水泳学習の指導協力として、今順二さんと大津秀子さんにお世話になっています。泳力に応じた指導をするためには、それだけ指導者が必要となりますから、本当にありがたいことです。このところ梅雨空の下での水泳学習が続いていますが、子どもたちの泳力が向上することを願っています。



白い森学習支援  
センター事業

## 「夏休みチャレンジウィーク」への参加を!

7月5日(火)の全校朝会は、白い森学習支援センターの渋谷洋司先生においでいただき、「夏休みチャレンジウィーク」についての紹介をしていただきました。詳しい事業内容については、子どもたちが持ち帰ったチラシに記載されているとおりですが、①学習会・学習講座、②サイエンス講座、③地域体験学習講座と、夏休みの宿題等を支援していただけるものから、学校では体験できないような学習等も予定されています。学校としても、「地域総がかりの教育」として本当にありがたく思っております。



ご存じのとおり、本町の白い森学習支援センターの取り組みは、全国的にも特筆されています。お子さんと一緒にチラシを見ながら、参加できそうな講座をぜひ探してみてください。なお、参加申込みの締め切りは、7月15日(木)となっています。

# 命を守る合言葉は…「いか・の・お・す・し」!

7月1日(木)に、置賜教育事務所の青少年指導担当の方を講師にお招きして、不審者対応の避難訓練を行いました。自分の命を守るための大切な学習として毎年取り組んでいます。

今年も、低・中・高学年毎に、発達段階に合わせてご指導をいただきましたが、共通する命を守る合言葉は、「いか・の・お・す・し」です。1年生もしっかり声に出しながら、大事な約束を覚えることができましたようです。また、「きよ・う・は」の約束も加えることも教えていただきました。子どもたちが、これらの合言葉(約束)をしっかり覚えているか、ぜひご家庭で確認してみてください。



さて、本町では、幸いなことに不審者からの声かけ事案が発生したことはあまりないようです。ただ、全国的にみると、ご存じのとおり痛ましい事件に発展してしまったケースもあります。安全・安心な小国町ですが、いざという時に対応できるように心構えは常に万全でなければなりません。

おうちでも、お気づきのことがあれば、子どもたちへの声かけをぜひお願いします。

“大事な声かけ”は何回でもお願いします。

## おめでとうございます!

第41回全日本バレーボール小学生大会  
山形県大会長井地区予選会 準優勝  
《おぐにバレーボールスポーツ少年団》



## 「人権教室」の開催 *思いやりあふれる学校をめざして*

6月25日(金)に、3名の人権擁護委員の方々においでいただき、6年生を対象として人権教室が行われました。先月に行った「花いっぱい運動」の際にも、人権についてのお話をさせていただきましたが、今回は映像教材などを視聴したりしながら、自分たちの身の回りにもありそうな出来事から、より深く考えることができたようです。みんなが幸せで、思いやりあふれる学校になるよう、繰り返し学んでいかなければならない大切な内容です。6年生の学びが全校へ広がっていくことを期待したいと思います。



～「学窓から」～ 全校朝会での校長講話。6年生が音楽の授業で歌っている『瑠璃色の地球』を引き合いにして、曲名にある「瑠璃色」から日本における色の種類(和名)について話をしました。「瑠璃色ってどんな色?」、「地球の色と同じ?」、「瑠璃色と青は違うの?」等等。電子黒板に色の違いや種類を映したりしながら話をしました。和名の色が、約1,100種類もあることも。私もびっくりでしたが、調べてみると日本の色の名前に関わって、いろいろなことが分かりました。

で、伝えたかったのは、日本人の感性の細やかさ文化の豊かさ…ではなくて、身の回りで「?」と思ったことを調べてみると、いろいろなことが分かって楽しい、皆さんも調べてみよう…ということ。

さて、翌朝、昇降口で子どもたちを出迎えていると、ある男児が「緋(ひ)色って知ってますか」と聞いてきました。お待ちしておりました…1/292 かもしれませんが、思考にヒットした人がおりました。授業ならばこの確率ではいけません、うれしくなりました。ところで、「緋色」ってどんな色かご存じですか?頭に引っかかっている方は、ぜひ調べてみてください。(笑)